



3 号

発行
 社会福祉法人 カナン
 発行人
 理事長 前田 庄一
 南河内郡河南町寛弘寺101番地
 TEL 0721-90-3200
 編集
 カナン広報委員会

NHK総合テレビにて

放映されます

「かんさい熱視線

～いつまでも二人で～

平成 22 年 5 月 14 日 (金)

午後 7 時 30 分～7 時 55 分 (25 分)

当施設宿直職員の富岡 廣志・節子御夫妻が、認知症や老老介護といった問題と前向きに向き合う様子を金剛山の登山を交えながら放送されます。

あんりにも取材

平成 22 年 3 月 11 日 (木) にあんりの職員研修の講師として富岡氏をお招きし、「在宅における認知症ケアについて」の講演をしていた様子も取材されました。

※富岡氏の介護理念をご紹介します。

【明るく元気に生き生きと！】

【有酸素運動で認知症の進行を遅らせる！】



講演中の富岡ご夫妻

認知症研修についての感想

始めに講師をして下さった富岡御夫妻に御礼を申し上げます。遅い時間までお付き合いいただき有難うございました。

私は十数年介護の現場で仕事をさせていただき、色々な認知症の方と関わりを持ち、またその家族の方々とも接してきました。

意にそぐわず認知症になられた肉親を、心から思い、愛される方は多くおられました。慈しみ・包み込む様にし、共に歩まれている方はそれ程多くはおられませんでした。

大切に思い愛されていても接し方が解らず戸惑い距離を置く方が多く、中には関わりすら持とうとされない方もおられました。

その様な現場で、「生きる事は」といつも自分に問いかけながら仕事をして来ました。

「生かされるのではなく、今を生きたい」

「自分らしく生きたい」・・・

やむを得ず施設が最後の家となった方に、人として生かされるのではなく生きていただきたい。では、どうすれば・・・

今回の富岡氏のお話は、そんな私に光を与えて下さいました。

又、明るく前向きな姿勢に力強いパワーを感じました。

出来ない事を探し、諦めるのではなく出来る事を見つけ一緒にやってみよう。そしてその事を少しでも長く続けて行こう。言葉や文章に表すのは簡単ですが、実行する事はとても大変な事だと思います。

富岡氏は奥様と一緒に雨の日も、風の日も、寒い日も、暑い日も休まず金剛山に登り、鉄棒・吊り輪をしてから下山されます。さらに自宅では、ヨガ・腹筋などの体操を毎日行い、奥様に対して怒らず常に笑顔で話しかけて接しておられます。

富岡御夫妻は、二人で『今』を生きておられるのだと感じました。

又、その日々が「生きる」と言う事に繋がっているのだと感じました。

介護保険制度では、介護保険を利用される利用者の方に対し、ケアプランと言う支援計画書を作成し、それに基づき支援が行われるのですが、この計画書は出来ない事を補う為に行う支援方法が主となり作成される事が多くあります。

今後はこの研修で学んだ事を生かし計画書に出来る事の継続プランが一つでも多く追加される様になればと思います。

(研修委員長 佐々木 地恵)

愛ある介護・おかげさまの精神をモットーに、感謝の心、愛する心を基本として、入居者様・利用者様並びに地域の方々を愛し・愛される法人であり続けたい。

【愛ある介護】

社会福祉法人カナンの理念



社会福祉法人カナンを開設し、5年目を迎えました。早いもので苗木だった桜もこんなに大きく育ちました。私たちも、この桜の木のように毎年大きく成長できるように職員一同頑張りたいと思います。

お待たせしました… 施設の看板完成しました！



デイサービスセンター

新卒入職員の紹介



デイサービスでは、2月13日(土)と3月20日(土)におやつ作りを行いました。

2月は14日のバレンタインデーにちなみクレープ作りを体験して頂きました。厨房さんよりクレープ焼きの名人?と

生地を作る機械を持ってきてもらい、ご利用者様方の目の前

でクレープ生地を作っていました。皆さんあまり馴染みのないもので最初は不思議そうに見ておられましたが、どんどん焼けていく生地と、いい匂いに「お腹すいてきた」と声もあがるようになってきました。そこで女性スタッフが生地焼きに挑戦!結果は…でしたが、皆様方からは歓声があがっていました。最後の飾り付けはご利用者様自身にしてみました。中には飾り付け途中で我慢できずに食べてしまう人も…食べた感想は「おいしい!」「こんな美味しいものがあったとは!」と大好評でした。

3月はホワイトデーにちなんで?た。蒸かして潰した芋をカップに詰め頂きました。普段あまりレクリエーションが、周りの方にも指示を出し先頭を切れたのがとても印象的でした。最後のき、さあ完成です!手作りなので、そ



スイーツポテト作りでして作業をご利用者様にしてョン等には参加されない方って作業に取り組んでおられ焼き上げは厨房で行って頂それぞれ個性的なスイーツ愛嬌。皆様食べられた感想

は「おいしい!」「手作りはいいなあ」と、こちらも大好評でした。こういったおやつ作り等は行事のほんの一部で、デイサービスではそれぞれ時節に応じたレクリエーションや行事を企画しています。まだまだ職員も発展途上であり、日々勉強の毎日です。これからもご利用者様方に喜んで頂けるような企画をどんどん行っていきたくと思っています。

プロフィール



ふりがな	おくもと ちはる
名前	奥本 千春
入職日	2010年4月1日
生年月日	1989年5月10日
星座	おうし座
血液型	A型
趣味	おかし作り
抱負	私は絵を描いたり製作をすることが好きなので、自分の好きなことや得意なことも活かしながら頑張っていきたいと思っています。まだまだ分からないことが多く、不安もありますが、笑顔を忘れず一生懸命頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひします。



後日、参加された方数名にその時の写真を見て頂きながら感想を伺いました。「化粧してないよりもしているほうがいい」「濃すぎずちょうどいい」と。「化粧品を持っていくけれど、普段自分ではなかなかしよと思わないから、こういう機会があつてよかった」「年をとつてもいつまでもきれいでいたい」とおっしゃっていました。インタビューさせて頂いた皆さんが、「また機会があればぜひしたい」と嬉しそうにお話さ

男性スタッフの声・・・

「お化粧をされると見違える(?)様に 綺麗やなあ!」
「嬉しそうな顔に、スタッフも思わずニコニコ」
「何歳になつても綺麗が最高!」
「お化粧の匂いって子供の頃の母親を思い出すなあ・・・」
次回をお楽しみに☆★☆☆



メイクアップ講習会開催(特養二階)

三月十日(水)に資生堂の方々のご協力により、メイクアップ・スキンケアレッスンをさせて頂きました。今回は三階の方四名と二階の入居者様を中心に行いました。最初は、資生堂の美容部員の香水の匂いと見なれない方々という事で何が始まるのだろうと不安な表情もされていましたが、メイクアップのレクチャーが始まると鏡に映るご自身のお顔に興味を持たれ、手で触りマッサージやファンデーションをご自分で試されていました。仕上がりを見て、満面の笑みを浮かべられ鏡に向かいうつとりされる様に変化していきまし



開設五年目にして、初。自宅復帰!

三階に入所されていきました伊庭史良氏が三月初めに退所日が決まり御本人様も以前に増して意欲的にリハビリ体操や廊下の手すりを使ったリハビリに取り組み姿がよく見られました。又、その頃より職員にも「もうすぐ家に帰るねん」と笑顔で話される事も度々あり、毎日お待ちどおしいという気持ち一杯に伝わって来ました。

退所当日には、時間一杯まで仲の良い利用者様と会話を楽しまれ笑顔でみなさんに見送られ退所されました。(退所後の現在は、カナンのデイサービスをご利用していただいております。)